

第7回川崎郷土・市民劇

壮大なロマンを実現させた 男のドラマ



アルテリッカしんゆり 2019

日本民家園 ものがたり

生田緑地に日本の故郷を



写真 小池 汪

作：小川信夫
演出：鈴木龍男(前進座)

入場料

(当日券は各 300 円増)

前売り 一般 2,900円 親子券 3,500円(親と小中学生) 学生・障がい者 1,000円
指定席券 3,600円(前売りのみ)

2019年《5月》公演日・開演時間

(いずれも開演 30 分前より開場)

10日(金) 18時 30分 / 11日(土) 14時

12日(日) 14時

18日(土) 14時 / 19日(日) 14時

多摩市民館

エポックなかはら

主催：川崎郷土・市民劇上演実行委員会 共催：川崎市／川崎市教育委員会／(公財)川崎市文化財団

後援：川崎市観光協会／川崎商工会議所／川崎市総合文化団体連絡会／川崎市国際交流協会

お問合せ先：川崎郷土・市民劇上演実行委員会事務局

電話&FAX 044-555-0588

〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5階 川崎文化財団内



日本民家園 ものがたり

壮大なロマンを実現させた男のドラマ 生田緑地に 心のふるさとが生まれた

日本を代表する古民家の集落、日本民家園は川崎が誇る文化遺産で、52年前の1967年に誕生した。しかし、それは信じがたいほどの紆余曲折を経て誕生したのだった。川崎の古民家、伊藤家が県の文化財審議会の決定によって横浜の三溪園に移されることになった。県が一度決めたことをそう簡単に覆せるはずがない。

しかし、当時、市の社会教育文化担当だった古江亮仁は川崎への返還を求めて立ち上がる……。

昭和30年代、川崎は地方から働きに来た労働者で溢れていた。心のよりどころを求める人々にとって民家園は心の故郷でもあった。民家園誕生の秘話を、ドキュメンタリー映像や地方の民謡、沖縄の伝統舞踊などを交えながら描く壮大なドラマ。

スタッフ

作・構成 小川信夫
演出 鈴木龍男 (前進座)
美術・衣裳 佐々波雅子
音楽 日高哲英
照明 坂本義美
音響効果 山北史郎
映像 小池 汪
大道具 ステージファクトリー
伊藤 厚
小道具 護 柔一
衣裳協力 京浜協同劇団
舞台監督 TAKE4
演出助手 柳沢芳信
藤井康雄
制作 城谷 護
制作助手 関 昭三
柴田 昇
企画・制作 上演実行委員会



前回「南武線物語」舞台 写真 小池 汪

◆川崎郷土・市民劇上演実行委員会

顧問	齋藤 文夫	川崎市観光協会会長
実行委員長	藤嶋とみ子	川崎市総合文化団体連絡会顧問
副実行委員長	原島 弘	多摩区観光協会 顧問
副実行委員長	藤田 力	教育活動総合サポートセンター 前理事長
会計	小泉 幸洋	川崎商工会議所 専務理事
監査	菅原 敬子	麻生区文化協会 会長
事務局長	関 昭三	川崎市民劇場 元代表幹事
実行委員	江頭 秀夫	21世紀川崎教育フォーラム 代表
〃	笠原 勝利	麻生観光協会 会長
〃	梶川 明美	川崎地名研究会
〃	園部 晃子	川崎地名研究会
〃	北沢 仁美	川崎市国際交流協会 事務局長
〃	菅野 利勝	川崎区文化協会副会長
〃	櫻木 進	多摩区観光ボランティアガイドの会 代表
〃	渋谷 卓男	川崎市日本民家園園長
〃	新谷真由美	絃友会事務局長
〃	城谷 護	川崎文化会議議長
〃	末吉 一夫	多摩区観光協会 会長
〃	鈴木 穆	高津区文化協会会長
〃	鈴木 和久	生田緑地共同事業体 総括責任者
〃	鈴木 稔	川崎市老人クラブ連合会 理事長
〃	千田 智子	かわさき市民アカデミー 理事
〃	鶴見 邦男	稲田郷土史会 会長
〃	藤井 康雄	京浜協同劇団 代表
〃	吉田 輝久	多摩区町会連合会 副会長
〃	北條 秀衛	アルテリッカしんゆり 特別参与
〃	牧田 好央	教育活動総合サポートセンター 理事長
〃	米田 信一	川崎教育文化研究所
〃	米山 実	ライオンズクラブ ソーンチェアパーソン
〃	山崎 雅彦	多摩区老人クラブ会長
〃	山田 益男	幸区文化協会 会長
〃	渡邊 英一	川崎市退職教職員会 会長
〃	多田 昭彦	川崎市文化財団 理事長
〃	和田 敏一	川崎市市民文化局 市民文化振興室 室長
〃	原田 明	川崎区役所 副区長
〃	高田 智幸	中原区役所 副区長
〃	望月 明弘	多摩区役所 副区長
〃	山口 良和	麻生区役所 副区長
〃	前田 明信	川崎市教育委員会生涯学習部 部長

川崎郷土・市民劇とは

川崎郷土・市民劇は、川崎の歴史や人物を劇化し、公募の出演者、プロのスタッフによって2年ごとに上演しているもので、これまで12年間に次の作品が上演されました。観客は毎回3,000～4,000人の大イベントです。

- 第1回 2006年「多摩川に虹をかけた男―田中兵庫物語―」
- 第2回 2008年「池上幸豊とその妻」
- 第3回 2011年「枳形城 落日の舞い」
- 第4回 2013年「大いなる家族―戦後川崎ものがたり―」
- 第5回 2015年「華やかな散歩」(佐藤惣之助)
- 第6回 2017年「南武線誕生物語」

主催 川崎郷土・市民劇上演実行委員会
共催 川崎市 / 川崎市教育委員会 / (公財)川崎市文化財団
後援 川崎市観光協会 / 川崎商工会議所 / 川崎市総合文化団体連絡会 / 川崎市国際交流協会

多摩市民館
5月10日(金) 18:30
11日(土) 14:00
12日(日) 14:00
(開場は開演の30分前)
※登戸駅からは徒歩15分ですが、現在区画整理のため、道順は線路沿いに歩き、向ヶ丘遊園駅まで出ていただき、小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車 徒歩5分
TEL:044-935-3333



エポックなかはら
5月18日(土) 14:00
19日(日) 14:00
(開場は開演の30分前)
JR南武線「武蔵中原」駅下車 徒歩1分
TEL:044-722-0185



前売り 一般 2,900円 親子券 3,500円 (親と小中学生) 学生・障がい者 1,000円 (当日券は各300円増)
指定席券 3,600円 (前売りのみ)

お問合せ先 **川崎郷土・市民劇上演実行委員会事務局** 電話&FAX 044-555-0588
ホームページ [川崎郷土・市民劇](#) 検索 E-mail: k.shimingeki@gmail.com